

提 案 概 要

(桃園公園・城山スポーツ施設 指定管理者)

団体名： スピナ・シンコースポーツ共同事業体

1 指定管理者としての適性について

(1) 施設の管理運営（指定管理業務）に対する理念、基本方針
<p>管理運営の基本理念</p> <p>地域と共にウェルビーイングなスポーツ拠点を実現する</p> <p>基本方針</p> <p>1. ウェルビーイング</p> <p>(1) スポーツ振興と普及（多様性）</p> <p>(2) 市民の健康増進（幸福とリラクゼーション）</p> <p>(3) 子どものスポーツ活動の推進（子どもたちの心身の健康や幸福感）</p> <p>(4) 地域連携（コミュニティとの社会的交流）</p> <p>(5) スポーツによる都市ブランド力向上</p> <p>(6) 利用者満足度の向上（快適な心地よさ）</p> <p>2. 安定的で持続可能な運営</p> <p>3. 安全・安心への貢献</p>
(2) 安定的な人的基盤や財政基盤
<ul style="list-style-type: none"> 代表企業では、指定管理課を組織し、本施設以外にも指定管理者として経験豊富な職員を多数雇用しており本部を含め、人的なバックアップ体制を構築し、安心安全な管理を実現します。 構成企業は、公共スポーツ施設の管理運営専門企業として、知識・技術力の高い職員を多く抱えており、その人材とノウハウを最大限に活用いたします。 NPO 法人北九州スポーツクラブ連絡会と協力、連携し、専門性の高い優秀な人材を確保します。 共同事業体 2 社ともに、経営状況は安定し良好です。
(3) 実績や経験など
<ul style="list-style-type: none"> 代表企業では、平成 18 年から桃園施設で指定管理受託事業を開始し、スポーツ施設 4 件、文化施設 1 件の指定管理業務を受託している実績があります。 構成企業は、九州地方にて 14 施設を指定管理者として運営管理しており、プール施設としては、5 施設にて本施設と同様の監視業務を含む、指定管理業務を行っております。

2 管理運営計画の適確性

【有効性】に関する取組み
(1) 施設の設置目的の達成に向けた取組み
<ul style="list-style-type: none"> 初心者から本格的な競技者まで対象とした多彩な自主事業、イベントを実施します。 子どもたちがいろいろなスポーツを幅広く体験できるにイベントを実施します。

<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ大会にあわせたキッチンカーイベントの開催などでにぎわいづくりを実施します。 ・公園の一体管理となることから、業務の効率化と地域と連携したにぎわいづくりに取組みます。 ・目標利用者数は、令和7年28万人とし、最終年度には28.1万人を目標とします。
(2) 利用者の満足度
<ul style="list-style-type: none"> ・施設利用者満足度の目標は令和7年度94%とし、最終年度には95%を目標とします。 ・職員対応満足度の目標は、令和7年度95%とし、最終年度には95.5%を目標とします。 ・アンケートなどで収集したお客様の声は、協議・評価の上共有し、地道に改善に取り組みます。

【効率性】に関する取組み
(1) 指定管理料及び収入
<ul style="list-style-type: none"> ・指定管理料提案額は、スポーツ施設は毎年度298,540千円とします。同様に公園は毎年度28,609千円とします。 ・自主事業やイベント、自動販売機による収益は、市民サービスに還元します。 ・きめ細かな利用調整を行い、施設の稼働率を上げることで、利用料収入を増加させます。 ・維持管理において、可能な限り自社対応を行い、外注費を圧縮し経費の縮減を図ります。 ・利用料金については、北九州市スポーツ施設条例の通りにて運用いたします。
(2) 収支計画の妥当性及び実現可能性
<ul style="list-style-type: none"> ・最低賃金や物価上昇に対応するため、職員の効率的な配置や管理器具の共用など一体管理による効率化を考えコストの圧縮を図ります。 ・これまでの管理実績と、構成企業の類似施設から導き出した指定管理料は、基本方針に基づいた各施策を実現し、また利用者と職員の安全を担保するための妥当な収支計画と考えます。

【適正性】に関する取組み
(1) 管理運営体制など
<ul style="list-style-type: none"> ・本部を含めた各施設は隣接しており、緊急時はスピーディに対応できます。 ・経験豊かな専門職員を配置し、後進の育成を図り全体の職員レベルを向上させます。 ・6施設が効率的に連携し、限られた人員で全ての業務を補完できる体制とします。 ・日常的な訓練や研修、定期的な講習会を積極的に行い、職員の質の向上に努めます。 ・各社の持つノウハウが最大限は発揮できるような、業務分担・役割体制とします。
(2) 平等利用、安全対策、危機管理体制など
<ul style="list-style-type: none"> ・個人情報保護の目的と重要性を職員に理解させ、漏えい、紛失が起きない体制を構築します。 ・合理的配慮を十分に理解し、障がい者だけでなく全利用者に対して公平かつ安心安全に利用できるよう接客指導を行います。 ・特定の利用者や団体に偏った対応を行わないように、内部監査を定期的に実施します。 ・事故後の対応はもちろん、事故の未然防止に注力いたします。 ・安全管理マニュアルの整備とマニュアルを実践するための訓練を定期的に行います。 ・監視員教育を徹底し、プールでの三重大事故防止に努めます。 ・自然災害、犯罪等の防止のため、市を含む関係機関と日常的に連携を深めます。

スポーツ提案額（千円）

令和7年度	298,540千円
令和8年度	298,540千円
令和9年度	298,540千円
令和10年度	298,540千円
令和11年度	298,540千円

公園提案額（千円）

令和7年度	28,609千円
令和8年度	28,609千円
令和9年度	28,609千円
令和10年度	28,609千円
令和11年度	28,609千円

※提案概要は、提案書の内容を2枚程度（A4）にまとめてください。